

事務事業名	関東市議会議員会参画事業			担当	議会事務局 議事課 庶務係		
政策名	H	施策体系外		増補版施策名			
施策名	1	施策体系外の事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	関東市議会議員会則						
予算科目	1. 一般会計	1. 議会費	1		1		
事業概要	関東の各市議会が、共同して地方自治の確立と都市の興隆発展を図るための事業展開を行っている。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・関東市議会議員会定期総会（桐生市）4/24～25 ・関東市議会事務局職員研修（東京都）11/1 31年度計画 ・関東市議会議員会定期総会（調布市）5/29～30 ・関東市議会事務局職員研修（東京都）11/15 ・関東市議会議員会理事会（越谷市）10/17～18	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	会議の数	回	1	1	1	1	2
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 関東の市議会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	関東の市区議会の数	市区	216	216	216	216	216
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地方自治の発展のため、協調協力関係を構築し、共通の課題について情報収集交換を行う。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	国や関係機関への要望や意見書の提出	件	4	4	4	4	4
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 相互間の連絡、共通する課題の協議及び処理を行う。また、適切な議会運営を行い、もって地方自治の発展に資する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	要望等の実現数	件	1	0	1	0	0
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	75	112	112	116	116	
	事業費計(A)		千円	75	112	112	116	116
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	25	25	25	25	25
		人件費計(B)	千円	105	104	104	104	104
トータルコスト(A)+(B)		千円	180	216	216	220	220	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	関東の市議会の一員として、その相互間の連絡、共通する問題協議及び処理のため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	特になし。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。